



## 『曇りときどき晴れ』 寸評

- ・ こまやかな心象風景ともとらえられる作品世界のひろがり
- ・ なにかにおさまろうとしない空模様、その多彩を音のパレットに写した
- ・ m.5 b.2-3, m.10 b.3-4, m.11 b.1-2 音のうつろいがとりわけあざやか
- ・ m.13-14 b.3 短三和音にしてしまわなかったところがうまい
- ・ 「曇り」からはじまるタイトルの強い心象換気力

完成度をさらに上げるために

- ・ m.12 左手 音高は変わらないので1小節まるごとでよい
- ・ m.16 b.3 ペダルをふむから二分音符にフェルマータをつけたらいい
- ・ m.13 b.2 ウラの八分音符にスタッカートがほしい
- ・ m.14 b.3 左手 音価がすくなくとも四分音符 さらにながくても
- ・ m.15 b.4- m.16 b.1 *8va*-----↑ つなげて一本にするとみやすい
- ・ 好きな発想標語をぜひもりこもう
- ・ m.4 b.4- m.5 b.4 スラーは音符の玉の側にかけてよう
- ・ m.3 b.3-4 記譜  まとめてもよい
- ・ ばあいによっては両手の交差を意識したピアノらしい技巧を工夫するのも発想をひろげてくれるかもしれない
- ・ 両手ともに五線に加線やスラーが多用されるのでたっぷり余白をとるとみやすくなる

m.=measure 小節番号のことです。  
b.=beat 拍のことです。

おき創作品. おめでとう!

特産 勉